わくわく園

親子で冬のレクリエーション

わくわく園の冬の親子レクリエーションが1月27日にわくわくわく園グラウンドで開かれました。

冬の寒さが身に染みる中、親子でソリを使ったリレーや異年齢でグループ分けをした綱引き、宝探しなどが行われ、短い冬を親子で楽しみ交流を深めました。

節分にちなみ豆まきを行う

節分にちなみ、わくわく園で1月30日に豆まきが行われました。

父母も協力し、鬼の衣装を身に着けて、雷の音とともに園児たちの前に登場。

園児は一斉に豆を投げて「鬼は外」と叫んだり、泣きながら逃げ回ったりしていました。

劇団「訓子府座」

第4回公演 オズの魔法使い

劇団「訓子府座」の第4回公演が、1月27日に町公民館で行われました。

今回は初めてのミュージカルに挑戦。役者のきれいな歌声と熱演に会場を訪れた約300人の観客から温かい拍手が送られました。

オホーツク玉入れ選手権大会

繰り広げられた熱き戦い

第16回オホーツク玉入れ選手権大会が2月11日に町公民館で開かれ、訓子府町内をはじめ北見市や置戸町、紋別市などからジュニア4チーム、一般18チームが参加しました。

身長よりはるかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。

一般の部では「紋別アクア」（紋別市）、また、ジュニアの部では「ベースボールJr」（訓子府町）がそれぞれ優勝しました。町内のチームでは一般で5チーム、ジュニアの部で3チームが参加し、練習の成果を発揮しました。

姉妹町・津野町から交換留学生

交換留学生4人が訓子府の冬を満喫

訓子府町の姉妹町・高知県津野町から小学生4人の交換留学生と引率の津野町教育委員会教育長の久寿久美子さんが2月3日に来町しました。

今年、来町したのは下元美結さん、白石美鈴さん（以上精華小）、市川心さん、中越穂華さん（以上中央小）の6年生です。

児童たちは厳寒焼肉やさむさむまつりなどの行事やスケート学習など冬のイベントを満喫。勉強や遊びを通じて交流を深め、たくさんの友達と思い出をつくり、8日に離町しました。

豆を使った給食を提供

JAきたみらい豆類振興会訓子府地区（石川修会長）から寄贈されたとら豆を使った給食が2月9日に町内の各小中学校、高校で提供されました。

メニューはアメリカの国民食である「チリコンカン」。

訓小では、多くの児童がパンに挟んで食べ「おいしい」と笑顔を浮かべていました。

ささえあい講演会を開催

NPO法人のどか理事長の高木悟氏を講師に招いた「ささえあい講演会」が、2月16日に町公民館で開かれました。

高木氏は「どうつくる!?ほっとするまち訓子府～みんなでささえあうまちづくり～」と題して講演しました。

講演で高木氏は「支え合いの本意は『社会参加すること』。外に出て、人と関わることが介護予防になり、助け合いにつながる。介護予防をして介護状態にならないようにすることが大切」と話していました。

訓小児童4人 全道決勝大会に出場

北見若松市民スキー場で1月21日に開催された第43回スポーツハウスカップ争奪ジュニアアルペン決勝記録会で横山祐汰さん、石川蓮さん（以上訓小4年）、渡邉瑛琉さん、髙内結衣さん（以上訓小2年）が出場し、全道決勝大会への切符を手にしました。

全道決勝大会は、2月25日に行われ、横山さん、渡邉さん、髙内さんの3人が出場。それぞれ力を尽くして滑りました。（石川さんは、ほかの大会に出場）

左から髙内さん、渡邉さん、横山さん